

事務事業名		やすらぎの交流施設改修事業			<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	0:3:産業活性化に向けたまちづくり			所属課	産業振興課	担当	林務商工観光担当
	施策名	0:1:地域特性をいかした観光の推進			課長名	小野崎保男	担当者名	鈴木啓市
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等
		0:5	0:1	0:8	0:0	1	やすらぎの交流施設管理費	
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度			年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)		
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 旧熊ノ木小学校を、現在星ふる学校「くまの木」として使用しているが、建物の老朽化が進んでいる。25年度には、屋根・壁などの改修を行ったが、今回は前回の改修対象でなかった部分を行う。塩谷グリーンツーリズム事業等、町としての事業も多数行われており、安全性の観点からも対応が必要。</p> <p>2 概算事業費(※ランニングコストが掛かる事業については、概算で算定し記入すること) 事業費： 4,500千円 うち県補助金2,000千円 (中山間地域活性化補助金)※H27県事業未確定であるが、実施見込で当初予算へ計上。</p> <p>(内訳) 修繕費： 4,150千円 設計費： 350千円</p>						

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画 (活動の量・大きさ・規模等)	➡	名称	単位
		ア 修繕箇所	箇所
② 対象 (事業は誰・何を対象にしているのかを記載) 星ふる学校「くまの木」利用者	➡	名称	単位
		ア 星ふる学校「くまの木」利用者	人
③ 目標 (この事業によって、対象をどうしたいのか記載) 安全で快適な体験施設にし、利用者の増加を促すと共に、町の活性化を図る	➡	名称	単位
		ア 利用者の増加率	%

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 箇所	8	0	0	0	0	0
	イ	実績値 箇所	0					
対象指標	ア	目標値 人	8,410	9,251	10,176	11,193	12,313	14,898
	イ	実績値 人	0					
成果指標	ア	目標値 %	10	10	10	10	10	10
	イ	実績値 %	0					

計画		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金 千円					
	財源内訳	県支出金 千円		2,000			
		地方債 千円					
		その他 千円					
		一般財源 千円		2,500			
事業費計 (A)		千円	0	4,500	0	0	0

実績		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金 千円					
	財源内訳	県支出金 千円					
		地方債 千円					
		その他 千円					
		一般財源 千円					
事業費計 (A)		千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	管理は委託しているものの、施設自体は町の所有物であり、町で修繕するのは妥当である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	町内外から年間何千人もの利用があるため、危険箇所や老朽箇所の修繕は、利用者の安全を考慮した上で早急な対応が必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	必要な部分だけ修繕を行うため、適切である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	町内外、誰でも利用できる施設なので公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 27 年 1 月 5 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input checked="" type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件 年次計画を策定し、計画的に修繕等を行うこと	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等) 過去、どのような修繕を行ったかを整理すること

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 一 年 一 月 一 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業